

*人にやさしく、地球にやさしい

バイオグッド

酢酸苦土肥料

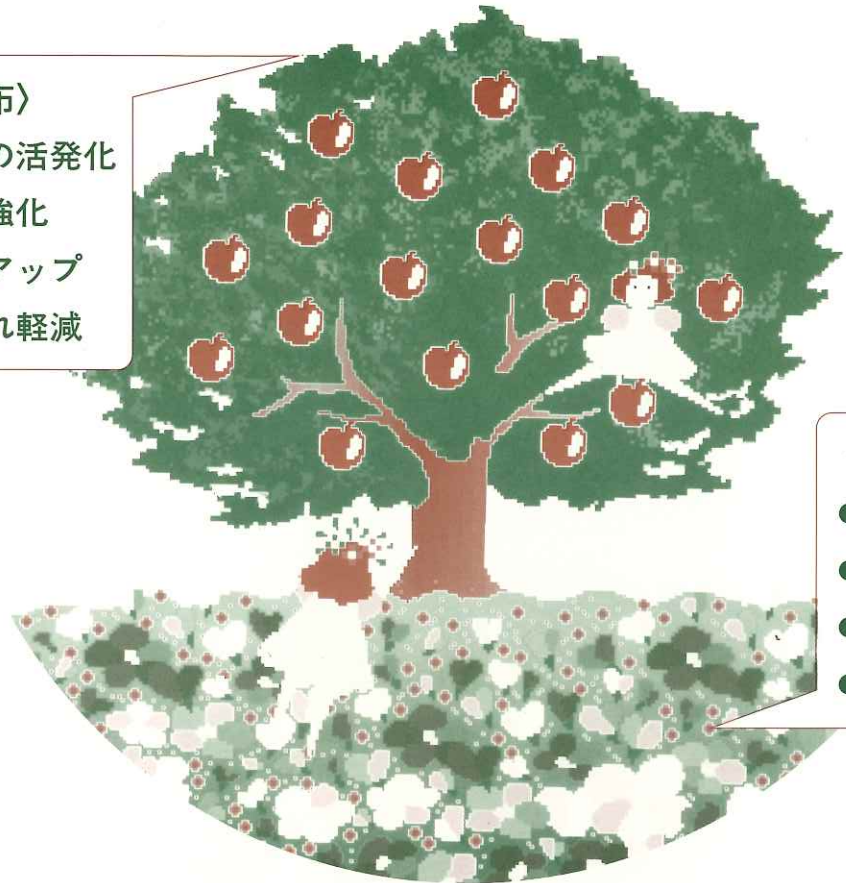
保証成分 水溶性苦土 18%



健康な土、安全な作物は、かけがえのない財産です。

〈葉面散布〉

- 光合成の活発化
- 樹勢の強化
- 糖度のアップ
- 成り疲れ軽減



〈土壌施用〉

- 土壌の改良
- 地力の増進
- 根群の発達
- 活着の促進

はじめに

- 植物の生育にとってマグネシウム成分は、多量必須要素であり、葉緑素構成の中心的存在です。マグネシウムが不足すると、光合成が低下し生育が衰えてきます。生育が衰えますと、病虫害に対する抵抗力が弱くなります。
- マグネシウムは、苦土といい、苦土即ち、苦い土です。いろいろ仕事をしてもらって、疲れている土壌や作物に良質のマグネシウムを適度に施して活力を与え、その上で、品質のよい農産物の生産をしましょう。

特長

- バイオグッドは、有機酸で形成されており、土壌や植物に対しやさしい肥料です。
- バイオグッドの化学式は、 $Mg(CH_3COO)_2$ であり、 CH_3COO は、土壌中や植物体内においても、炭酸ガスと水に分解するので有害物を残しません。
- バイオグッドは、多様な場面において、種々の作物に手軽に使用でき、尚かつ少量の使用量で優れた効果と特性を発揮します。
- バイオグッドは、他の苦土（マグネシウム）資材と比較して、吸収利用面において、顕著な効果があり、葉面散布用、養液栽培用、土壌施肥用並びに複合肥料用原料として幅広く利用でき、極めて有益性が高い環境にやさしい肥料です。

効果

- バイオグッドは、塩類等の集積がなく CEC を高め（土に活力を与え）根群の発達を促し、いきいきとした植物にします。
 - バイオグッドは、活力ある葉緑素を増加し（光合成を活発化し）各成分の吸収利用を促進します。
 - バイオグッド特有の組成により、土壌中や植物体の各成分と結合して、キレート化作用し植物の生育に合わせて、各成分の移動を助け、適時適量利用されやすいようにする効果があります。
- このような相乗効果から、糖度のアップを必要とする作物にあつては、糖度を高め、葉色を気にする作物にあつては、葉色を良くする等々、品質の向上に役立ちます。

試験成績

● 小麦に対する試験成績

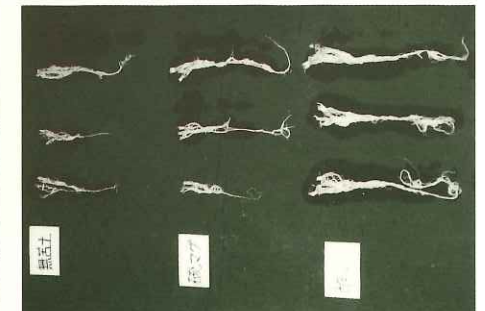
施肥設計 (資材名)	施用量 成分量(mg/鉢)				生体重(g)		指数	
	MgO	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	地上部	地下部	地上部	地下部
酢酸マグ	200	500	500	500	22.3	8.7	184	193
硫酸マグ	200	500	500	500	12.1	4.5	100	100
無苦土	—	500	500	500	9.4	3.3	77	73

注) 5000分の1aワグネルポット。

3 連鉢平均値。指数は硫酸苦土区100として



播種48日後の地上部



播種48日後の地下部

● イチゴに対する試験成績

施肥設計 (資材名)	追肥施用量(mg/鉢)				g/2株		平均	
	MgO	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	総果重	良果重	糖度	酸度
酢酸マグ	80	200	80	120	348	200	6.0	0.49
硫酸マグ	80	200	80	120	330	194	5.3	0.49

注) 5000分の1aワグネルポット。2 連鉢平均値。

基肥は、N = 15.0、P₂O₅ = 5.0、K₂O = 13.0、kg/10aとなるように換算して施用した。

追肥は、無機液肥(10-4-6)を250倍に希釈し、酢マグ、硫マグを添加して、果実肥大期より鉢当たり50cc/5~7日間隔で10回施用した。

このことによりTotal施用量(kg/10a換算)は、N = 17.0、P₂O₅ = 5.8、K₂O = 14.2、Ca = 37.0、MgO = 20.8、になる。内酢酸マグは、0.8kg施用したことになる。

使い方

● 土壌施用

作物名	施用時期	施用量(10a当)
穀類 (稲.小麦.麦.とうもろこし.芝.など)	元肥又は追肥	15kg~30kg
果樹類 (みかん.りんご.ぶどう.なし.など)	//	30kg~50kg
果菜類 (いちご.メロン.スイカ.トマト.なす.など)	//	15kg~25kg
葉菜類 (レタス.ほうれん草.小松菜.など)	//	10kg~20kg
根菜類 (大根.ゴボウ.人参.など)	//	15kg~30kg
油脂類 (いんげん.えんどう.枝豆.落花生.など)	//	15kg~30kg

* 果樹類は、一本当り300g~500gを目安にして下さい。

* 果菜.葉菜は、整地後畝の表層又は、定植時植穴に土と混ぜて施肥して下さい。

* 育苗培土に対し、約0.08%の割合で混合して下さい。

* 芝生は、1㎡当り、約30gの割合で施用して下さい。

● 葉面散布

作物名	散布時期	散布の目的	希釈倍数	散布回数
果樹類 みかん.りんご ぶどう.なし もも.かき.など	結実直後から 収穫期前まで	樹勢の強化 糖度のアップ 品質の向上	300~500倍	3回以上
果菜類 いちご.メロン スイカ.トマト きゅうり. なす.など	生育初期から 収穫後期まで	根群の発達 活着の促進 成り疲れ軽減 品質の向上	400~800倍	5回以上
葉菜類 レタス.小松菜 ほうれん草. キャベツ.ねぎ にら.はくさい など	生育初期から 収穫後期まで	根群の発達 活着の促進 結球の促進 品質の向上	400~800倍	5回以上

* 芝にも、葉菜類と同様にお使い下さい。

* 散布液量は、いずれの場合も葉先からしたたり落ちる程度。

* 生育の初期段階では、薄めの濃度、生育が進むに従って散布濃度を高めて下さい。

使用上の注意

- アルカリ性の農薬と混用して使用することは避けて下さい。!!
- 夏季日中の高温時を避けて散布して下さい。!!
- バイオグッドは、(Mg(CH₃COO)₂) 分解から吸収利用までが速いので(濃度を高めて回数を減らすより)、薄めの濃度で回数を増やして頂く方が効果的です。

荷 姿

葉面散布用	10kg(1kg×10)外装ダンボール箱 15kg(5kg×3)外装ダンボール箱
土壌施肥用	10kg、内ポリ袋 外装紙袋
原料用	25kg、内ポリ袋 外装紙袋

注) 製品の形状は、いずれも結晶状(粉末)です。